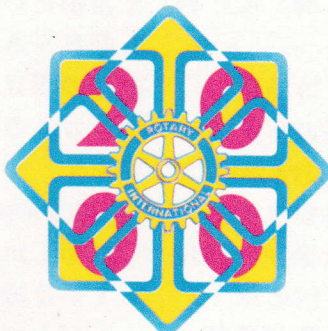




THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:  
ACT WITH  
CONSISTENCY  
CREDIBILITY  
CONTINUITY



ロータリー2000:

活動は—堅実、  
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

### ロータリー理解推進月間

第626回 平成12年 1月26日(水)

### 〔本日のプログラム〕

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 点        | 鐘 |
| 2. ロータリーソング |   |
| 「それこそローター」  |   |
| 3. 食        | 事 |
| 4. 会長の時     | 間 |
| 5. 幹事報告     | 告 |
| 6. 委員会報告    | 告 |
| 7. 点        | 鐘 |

- 次回予告
- ★ 2月 2日(水)  
世界理解プログラム  
2月セレモニー  
理事・役員会
  - ★ 2月 9日(水)  
夜間例会  
新会員卓話  
江崎 富治君

### 佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	福井 輝文
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	梶田與之助
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那阿3887-17	幹事	恒吉 正志
	☎880-0212	会計	林 厚雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

## 第 6 2 5 回例会記録 (2000. 1. 19)

### ☆会長の時間

会長 福井 輝文君

皆様 今日は

第625回の例会です。

本年度のIM(インターフェイス)が来た  
る3月21日(火)に開催されます。  
それに向けての会長の打合せ会が、当月  
21日(金)に行われます。

IMの参加者については、登録票が  
つき次第、検討したいと思います。

本日もお手元に配付しました「最適  
循環への挑戦」のコピーに基づき話を進  
めて行きます。

先日のテレビ「サンデーモーニング」  
の中でもゴミの問題が討議されていま  
した。ゴミ箱を置くか、置かないか、  
置かなければ、ゴミを投げ捨てる、置  
けばその処理で費用問題がある、この  
手元のコピーにもあるように「分別  
すればするほどコストは増える」と  
しています。

話は前後しますが、1月10日は  
【成人の日】でした。

我々の時代は式に参加すると、必ず  
町長や来賓の人たちの話を神妙に聞  
いたものですが、今は、式会場に入  
る者が半分、会場の外でたむろし  
ている者が半分、且つ会場内でも  
雑談に耽る者、携帯電話を使っ  
ている者、騒いでいる者、が  
いるとかで、主催者側も大変困  
っておられる…との話でした。

環境問題とも関わることですが、  
今モラルが非常に問われる時代だ  
と思います。「昔は違った」など  
と若者に注意すると

又それが問題になる…

私もそうですが、戦後生まれの親は、  
子供に躾ができない親が多いのでは  
なからうかと思えます。

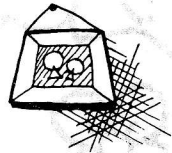
自由という言葉の履き違えをして  
いる面が多々あります。

昔の親は厳しく教育したものでした。

ゴミの問題もモラルの問題だと思  
います。

このコピーにもあるように、佐賀  
市では早くから6分野の分別収集  
法を導入している様です。

ゴミの分別収集、ゴミの減量化、  
等々我々国民一人一人の意識改革  
が環境悪化への歯止めになり、最  
適な地球環境に変えて行く原動力  
になるのではないかと思います。



### ☆幹事報告

幹事代行 吉田 康一郎 君

例会変更通知はありません。

1月24日(月)市郡7クラブ幹事  
会が、ホテル メリディアン於て、  
午後6時半より、宮崎西クラブ  
担当で開かれます。

会長のいない、幹事だけの会  
ですので、普段聞けない意見が  
聞かれたりして、大変勉強にな  
ります。

私が幹事代行で出席致します。

## ☆出席報告

委員長 柳田光寛君

会 員 数	26名
例会出席者	19名
出席率	73%
マークアップ者数	3名
修正出席率	85%
欠席者名	結、館、詩、林(卓)、詠

半年間の無欠席者を発表致します。

福井輝文君、吉田康一郎君、林厚雄君、田村勝二君、浜田松太郎君、山脇忍君、正岡文郁君、

以上の7名です。若し、漏れている方がありましたら、私の方まで、申し出て下さい。

次回にでも表彰します。

## ☆親睦委員会

委員長 吉田康一郎君

親睦旅行について

このことは先週にも申し上げましたが、参加者数と日時、場所、等が未だ未定です。

行き先を一応国外を考えてみましたがパスポートの問題やら、色々ありますので、国内の方が良いのではないかと考えております。

又、富高君に相談して、最善の案を出そうと思いますので、是非沢山の参加をお願い致します。

## ☆国際奉仕委員会

委員長 江崎富治君

ユネスコ・世界寺小屋運動への協力を！

標記について、井ノ上繁ガバナーより協力の依頼が来ております。

書き損じはがき1枚で、インドではノート3冊を購入することができるということです。

募金箱もまいておりますので、書き損じはがき、募金を今月一杯集めます。

御協力をお願いします。



*Happy Voice*

今月で64回目の誕生日を迎えることになります。

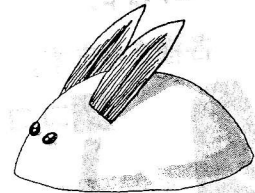
あと何年生きられることやら？

のんびりいきたいものです。

記念品、有り難うございました。

御厚礼申し上げます。

正岡 文郁



## ☆ R 情報委員会より

委員長 垂水敏雄君

1月はロータリー理解推進月間です。

これに関連して、竹下 巖地区R情報委員長より次のような主旨の書簡が配布されましたので、参考までに皆さんにお伝えいたします。

『1905年にシカゴにおいて、青年弁護士ポール、ハリスほか3名によって創立されたRCは、その後“職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・クラブ奉仕”の思想が確立し、95年を経過した今日では、世界の162の国に29,728クラブ、1,193,481人の会員を擁する巨大な集団へと発展した。

しかし組織が巨大化するにつれ、次第に精神的なものより行動的なロータリーを形成し始め、最近では国際ロータリー主導の、やや規則に束縛された画一化されたRCへと変貌しつつあるように思われる。その結果、当初のように、各会員がロータリーを楽しみながら真剣に論議しロータリーを作り上げていくといった主体性を失い、ロータリアンとしての自覚と行動に方向を失いかけている傾向が見られる。さらに、1年単位のRC役員任期中の実績を意識するあまり、基本的なロータリーの精神を維持することを忘れ、最も大切な会員相互の結束と相互扶助による信頼関係が薄れ、ロータリアンであることの喜びを享受できなくなってきているような気がする。

もちろん奉仕という崇高な行為による喜びのチャンスに恵まれることはあるとしても、自らこれを選択し行動する意欲の醸成の場としての例会の在り方も考えなければならないと思う。国際ロータリーは指示する組織ではなく、世界に散在

するRCを連携させ、ロータリーとしての基本的な精神とルールを確立し、それを等しく普及させながら支援するという意味での指導的役割を果たす機関であると思う。

具体的なロータリーの理解と行動は、それぞれ違った環境にあるクラブ・会員個人が独自性を発揮して作り上げ、地域に密着した自分たちでできる活動を選択して行かなければならないと思う。その原動力となるのが例会であり、ロータリーを享受する姿勢であるとする。

そして、その最も大切な方策が会員相互の親睦であり、信頼関係ではないだろうか。ロータリーの発生と発展がそうであったように、良き友を得て多くを学び、そこから生み出されるエネルギーをもって社会に貢献できる喜びを得る。

この原点を私達は今一度見直して、そのための例会の在り方、奉仕の在り方、そして国際ロータリーに期待するものを見出していくことが、自ずと会員増強、退会防止にもつながっていくのではないかと考える。

今年は人類にとってもまたとない記念すべき西暦2000年である。また国際ロータリーもあと5年すれば創立100周年を迎えることになる。会員の減少や多様化した時代の中であってロータリアンとしての意識の低下など、ロータリーも大きな曲がり角に来ているが、私達はこれまでのロータリーの輝かしい実績を踏まえて、来たるべき100周年へ向けて、これからのロータリーを身近な、私達のロータリーとして考えて行かなければならないと思う。ロータリアンであることに喜びと誇りを身をもって味わえるようなRCづくりを目指しながら。』